

## 第3回区政モニターアンケート結果

令和7年9月実施

## 1. 調査目的

### ■「世田谷区の多文化共生について」 生活文化政策部文化・国際課

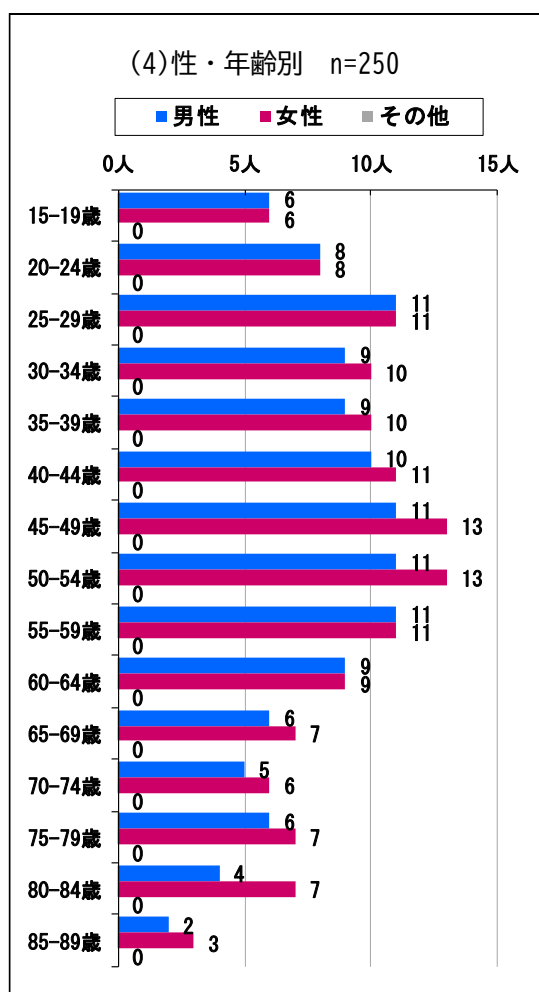
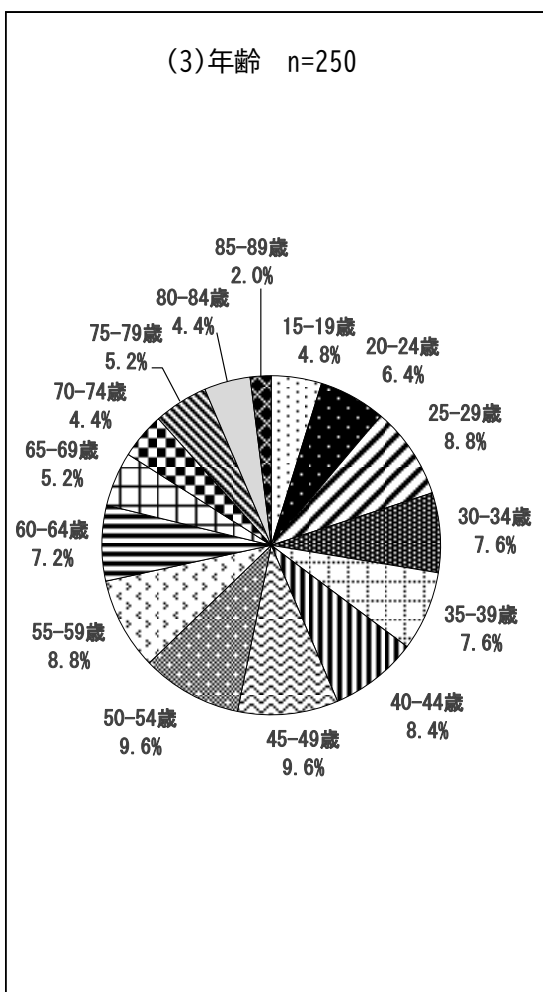
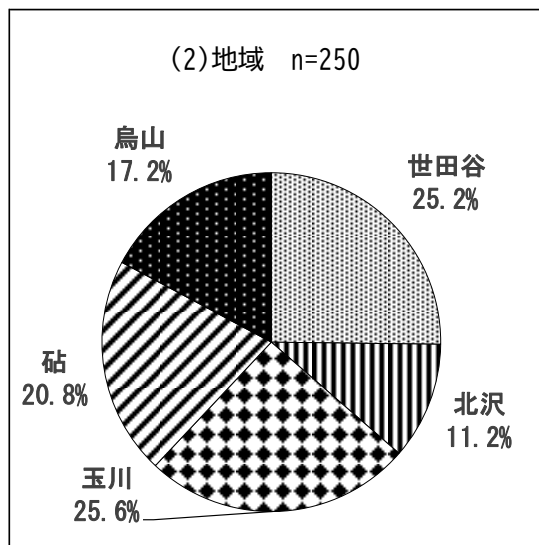
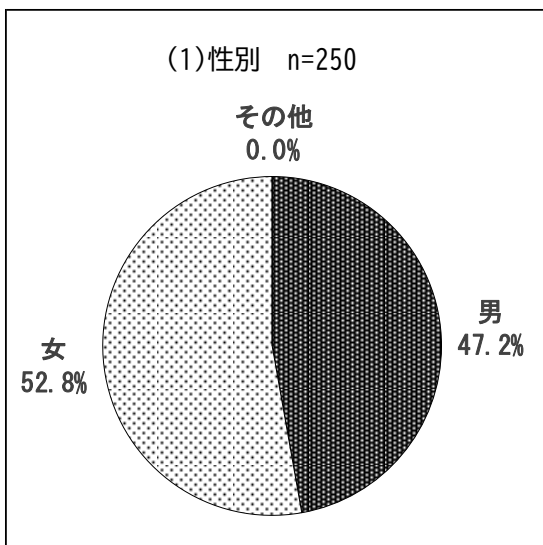
世田谷区では、多文化共生施策を総合的かつ計画的に推進するため、「世田谷区第二次多文化共生プラン」（令和6年度～令和9年度）を策定し、様々な取り組みを実施しています。

プランの基本理念である「誰もが共に参画・活躍でき、人権が尊重され、安心・安全に暮らせる 多文化共生のまち せたがや」の実現に向け、区民の皆様が多文化共生についてどのような認識を持っているか調査し、区の多文化共生施策の参考とするため、アンケートを実施しました。

## 2. 調査設計

- (1) 定数 250 人
- (2) 調査対象 15 歳以上で区内在住の方
- (3) 調査方法 Web アンケート
- (4) 調査期間 令和7年9月29日から10月13日
- (5) 数値の見方 特に断りがない場合、すべての設問の n 値は 250 である。  
※n 値とはサンプル数（アンケート回答件数）

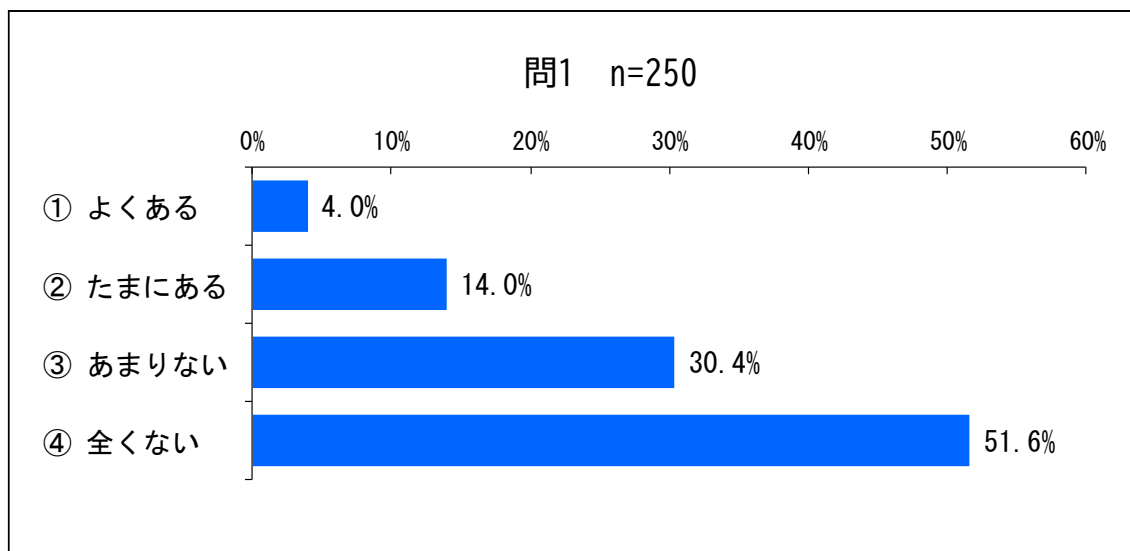
### 3. 標本構成



## 4. 質問と回答

### ■ 「世田谷区の多文化共生について」

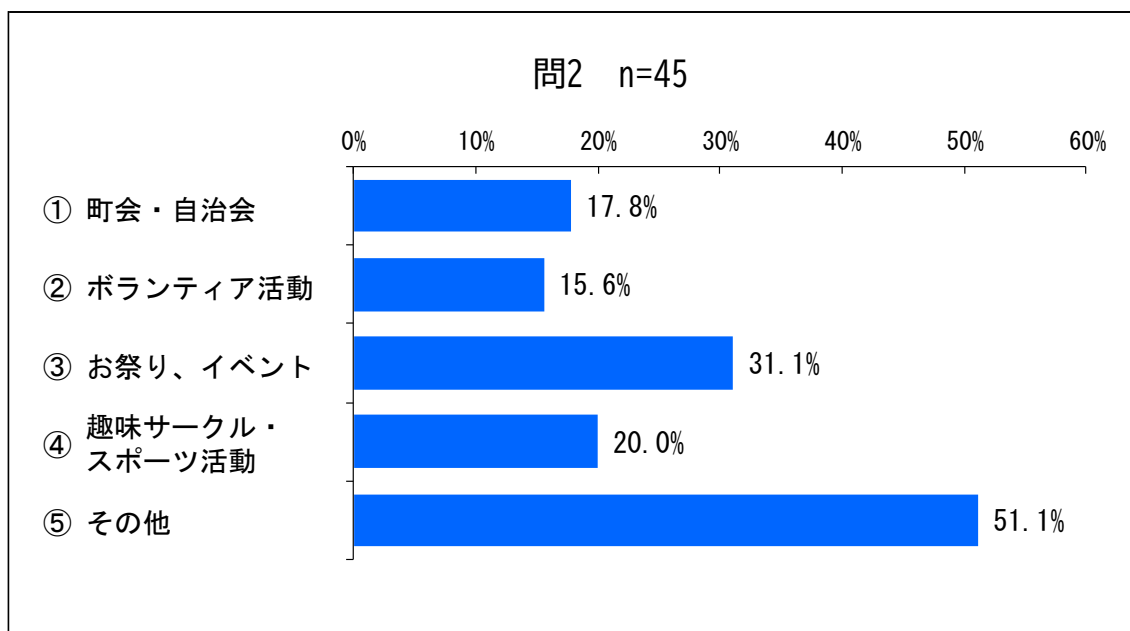
問1. 現在、世田谷区の在住外国人数は約3万人（約3.2%）です。あなたは、地域で暮らす外国人等と交流する機会がありますか。（○は1つ）



#### <調査結果>

地域で暮らす外国人等と交流する機会はあるか聞いたところ、「全くない」が(51.6%)が5割を超え最も高く、以下、「あまりない」(30.4%)、「たまにある」(14.0%)と続く。

問2. 問1で「よくある」「たまにある」を選択された方にお聞きします。  
あなたはどのような活動で外国人等と交流していますか。  
(○はいくつでも)



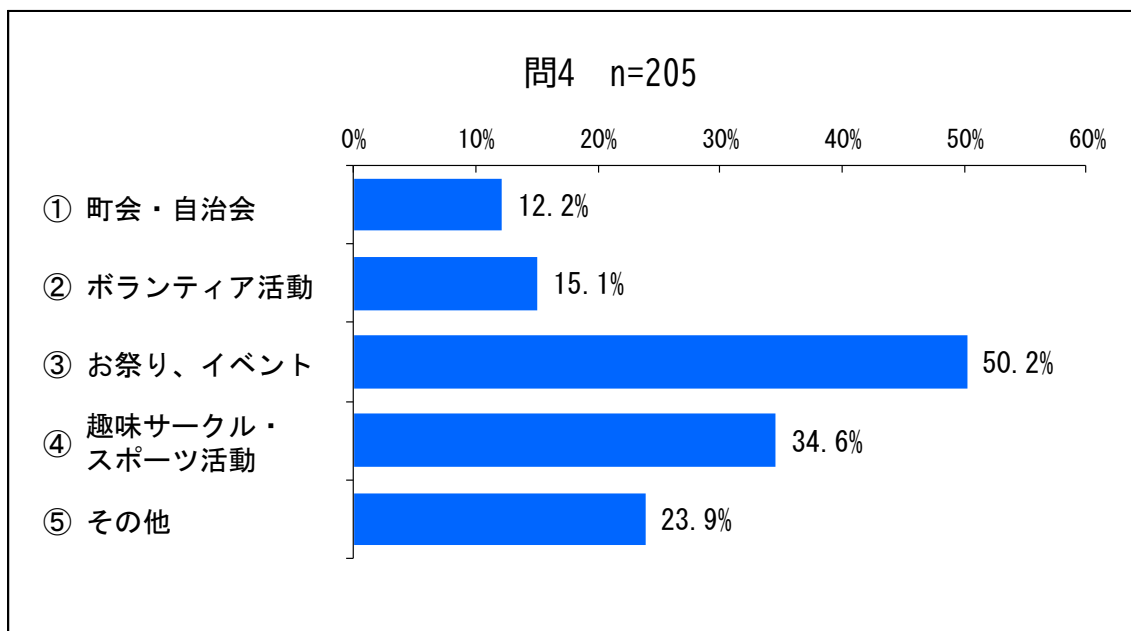
<調査結果>

どのような活動で外国人等と交流しているか聞いたところ、「お祭り、イベント」(31.1%)が3割を超え最も高く、以下、「趣味サークル・スポーツ活動」(20.0%)、「町会・自治会」(17.8%)などと続く。

問3. 問1で「その他」を選択された方にお聞きします。どのような活動で外国人等と交流していますか。(記述回答)

- 犬の散歩や路上で会ったとき (全5件)
- 近所付き合い・隣人 (全4件)
- ビジネス・仕事・アルバイト先 (全4件)
- 店舗・飲食店 (全4件)
- 学校 (全3件)
- 友人・友人のパートナー (全3件)

問4. 問1で「あまりない」「全くない」を選択された方にお聞きします。  
あなたは地域で暮らす外国人等と交流できる機会があるとしたら、どのような交流に参加したいですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

地域で暮らす外国人等と交流できる機会があるとしたら、どのような交流に参加したいか聞いたところ、「お祭り、イベント」(50.2%)が5割と最も高く、以下、「趣味サークル・スポーツ活動」(34.6%)、「ボランティア活動」(15.1%)などと続く。

問5. 問4で「その他」を選択された方にお聞きします。あなたは地域で暮らす外国人等と交流できる機会があるとしたら、どのような交流に参加したいですか。(記述回答)

(主な意見)

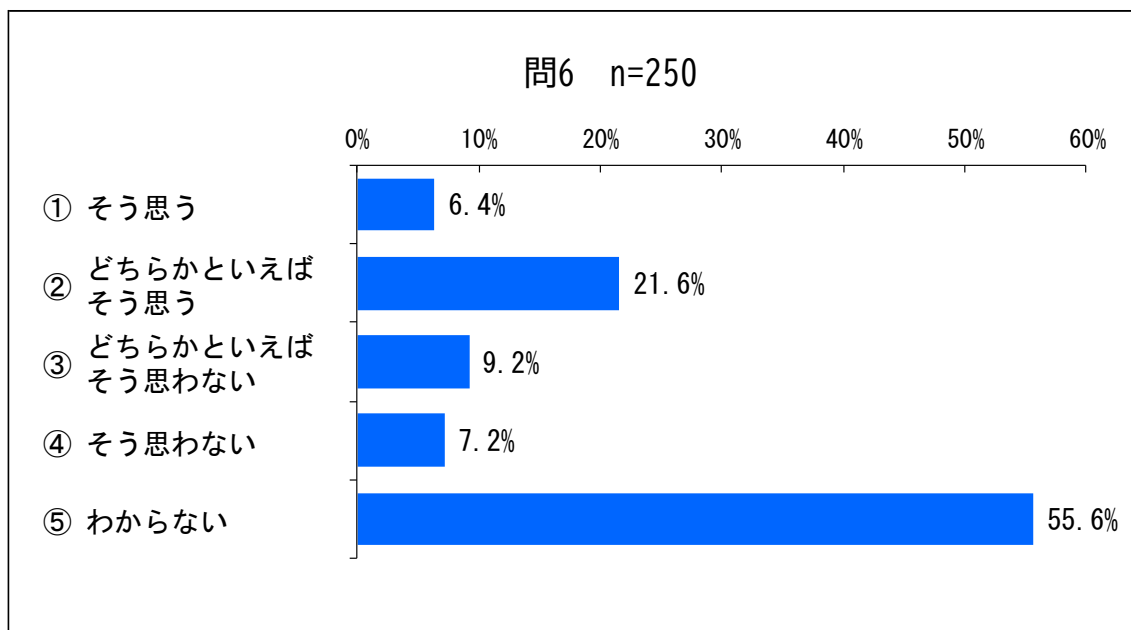
- 文化交流 (全4件)
- お店で話す (全2件)
- 日常生活の中でご近所さんのように交流したい
- 動物保護

交流したくない・参加したくない (全18件)

特にない (全22件)

わからない (全1件)

問6. 世田谷区では、外国人等が安心して地域で生活するために、外国人相談窓口の設置や教育相談室の運営、住宅・就労に関する情報提供など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは、外国人等に対する生活支援が充実していると思いますか。(○は1つ)



<調査結果>

外国人等に対する生活支援が充実していると思うか聞いたところ、「わからない」(55.6%)が5割半ばと最も高く、以下、「どちらかといえばそう思う」(21.6%)、「どちらかといえばそう思わない」(9.2%)などと続く。

問7. あなたは、外国人等に対する生活支援について、どのようなものが「充実している」、もしくは「充実していない」と思いますか。  
(記述回答)

▼「充実している」理由 (n=70)

- 多言語対応・語学支援 (全14件)
- 生活基盤・生活支援全般 (全9件)
- 住居・住宅支援 (全8件)
- 就労・仕事支援 (全6件)
- 相談窓口・行政対応 (全5件)
- 日本語教育・学校・就学支援 (全5件)

その他 (全19件)

(主な意見)

- 区役所での窓口対応をみていて、配慮されていると感じた
- トータルサポートできるようになっているところ

わからない (全10件)

特にない (全4件)

▼「充実していない」理由 (n=41)

- 多言語表記・対応が限定的 (教室・通訳不足、言語の壁) (全10件)
- 情報提供・広報・社会ルール告知不足 (全5件)
- 外国人窓口・相談機関が少ない (全5件)
- 就労・仕事・キャリアアップのサポート不足 (全4件)
- 住居・住宅支援 (全2件)

その他 (全10件)

(主な意見)

- 外国人が参加しているイベントなどが少ない
- 金銭面は充実していない
- 言葉の壁から来る教育や医療サービス

わからない (全6件)

特にない (全4件)

▼ 「わからない」理由 (n=139)

- 多言語対応・語学支援（「充実している」、「充実していない」それぞれの理由あり）（全11件）
- 情報提供・広報・社会ルール告知（「充実している」、「充実していない」それぞれの理由あり）（全8件）
- 生活支援は不要（全8件）
- 知る機会がない・情報がない・接する機会がない・実感しない（全5件）
- 交流イベント・溶け込める場所づくり（「充実している」、「充実していない」それぞれの理由あり）（全4件）
- 就労・仕事支援（「充実している」、「充実していない」それぞれの理由あり）（全4件）
- 給付金・助成金の充実（全2件）
- 相談窓口・行政対応（「充実している」、「充実していない」それぞれの理由あり）（全2件）

その他（全8件）

（主な意見）

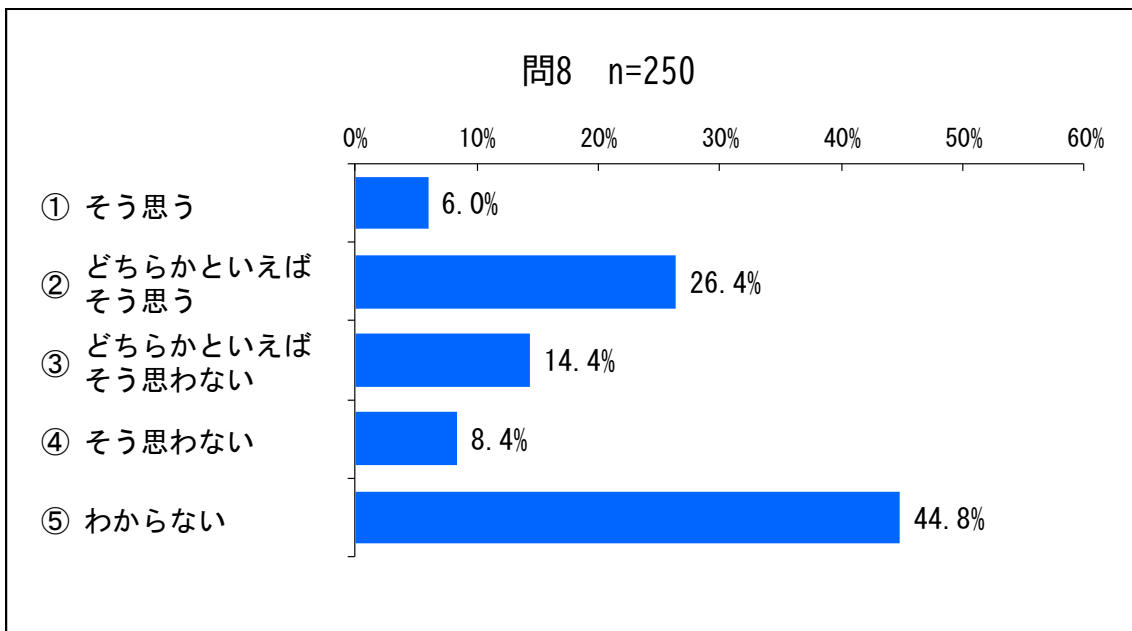
- 生活基盤での保健衛生の充足、経済的危機の際での相談方法の周知が不足している印象
- 生活していく上での支援はある程度充実していそう
- 外国人の前に日本人を支援してほしい
- 職業紹介、学校教育、孤立化を防ぐ取組みなど日本人社会との共存を目指してほしい
- 生活支援サービスの設置と実行面では他より充実しているように思えるものの、それらが地域住民の目に見える形にはなっていないように感じる

興味・関心がない（全7件）

わからない（全89件）

特にない（全9件）

問8. 世田谷区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか。  
(○は1つ)



<調査結果>

世田谷区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思うか聞いたところ、「わからない」(44.8%)が4割半ばと最も高く、以下、「どちらかといえばそう思う」(26.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(14.4%)などと続く。

問9. 問8について、なぜそのように思いますか。よろしければ、理由をご記入ください。(記述回答)

▼「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」理由 (n=81)

- 外国人が身近な存在になり、接する機会が増えた (全22件)
- 差別的な言動やトラブルを見聞きしなくなった (全22件)
- 職場や地域で自然に共生できている・溶け込んでいる (全20件)
- 以前より抵抗感・違和感・偏見が少なくなった (全11件)
- 学校・地域・行政の多文化共生の取組み・理解が進んでいる (全5件)

その他 (全9件)

(主な意見)

- 学校で仲良く通学しているので
- 暮らしやすくなったという声を聞く

特にない (全5件)

▼「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」理由 (n=57)

- マナーや生活習慣の違いへの不満・犯罪や治安の不安がある (全7件)
- 外国人との交流・相互理解の機会が不足している (全7件)
- 差別的な発言や態度・偏見がまだある (全4件)
- 特定の国籍・宗教への固定観念がある (全4件)
- 報道やSNS、ネット上で偏見・偏った情報が広がっている (全4件)
- 受入れに消極的・排他的な意見や行動がある (全4件)
- もともと偏見や差別はない・そもそも差別を見聞きしない (全2件)

その他 (全19件)

(主な意見)

- 自分が外国人に慣れていない・苦手意識がある
- 変化が感じられない
- 相互に理解不足・互いのリスペクトがない
- 多様性社会には反対

わからない (全3件)

特にない (全4件)

▼ 「わからない」理由 (n=112)

- 外国人と接する機会・交流がない (全41件)
- 情報がない・見聞きしない・遭遇しない (全16件)
- 興味・関心がない (全5件)
- 人それぞれ本人の感じ方次第・外国人次第 (全3件)
- もともと差別や偏見があると考えていない (全2件)
- 調べたことがない (全2件)

その他 (全5件)

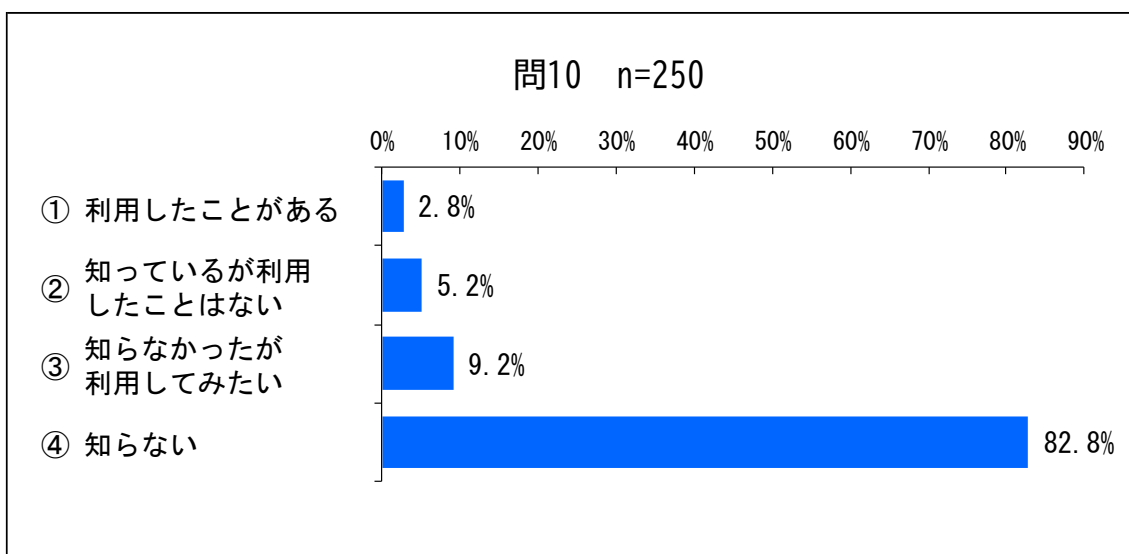
(主な意見)

- もともと住んでいる地域で外国人差別などを感じる機会がないため分からない。また、現在も関わる機会が少ない。ただ、雰囲気的には他の地区よりは外国人の方も含め穏やかに過ごしているような気がする
- 特に差別も見ないし、差別についての何かを減少させるための取組みにも心当たりがない

わからない (全35件)

特になし (全11件)

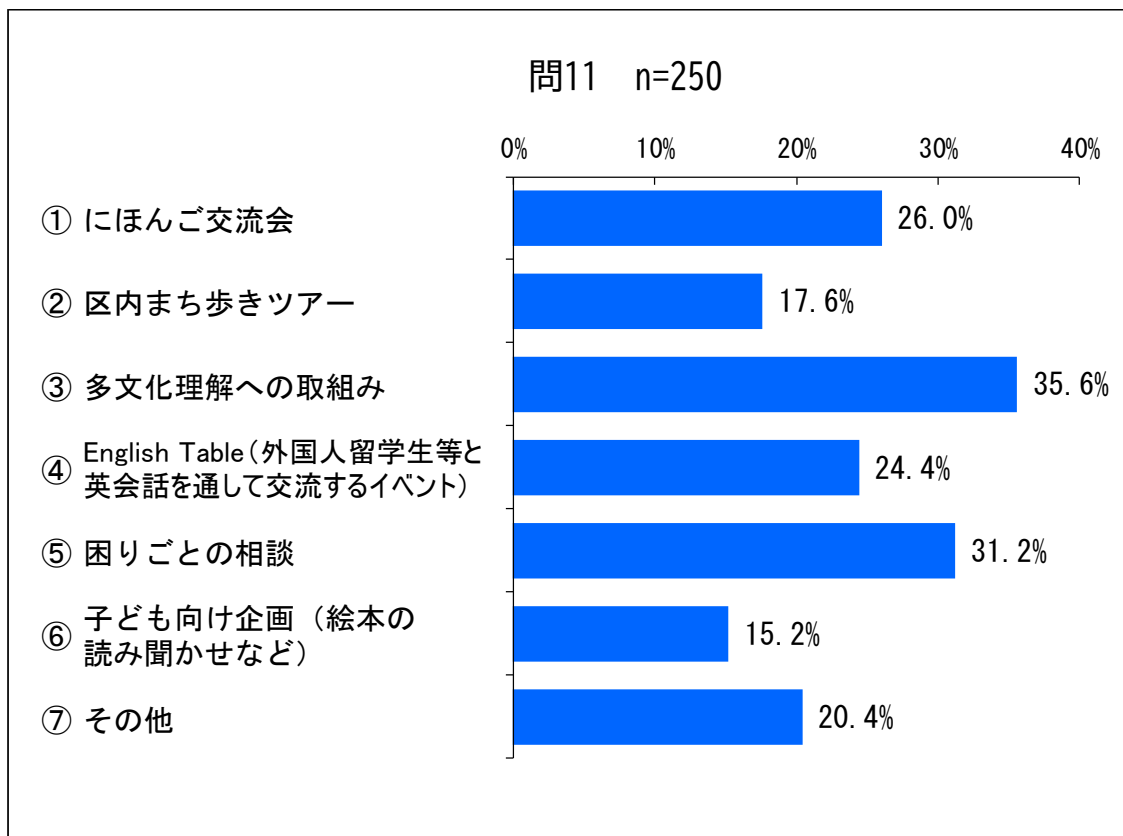
問10. 世田谷区では、多文化共生に関する支援や情報発信の拠点として、令和2年にせたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を開設しました。せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）では、外国にルーツのある人や、地域で活動している団体、国際交流や多文化共生に興味のある人に向け、暮らしに役立つ情報提供、生活における困りごとの相談窓口の案内や地域活動団体の紹介を行っています。  
あなたは、せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を知っていますか。（○は1つ）



<調査結果>

せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を知っているか聞いたところ、「知らない」（82.8%）が8割を超え最も高く、以下、「知らなかったが利用してみたい」（9.2%）、「知っているが利用したことはない」（5.2%）などと続く。

問11. あなたは、せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）にどのような取組みを進めてほしいですか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）にどのような取組みを進めてほしいか聞いたところ、「多文化理解への取組み」（35.6%）が3割半ばと最も高く、以下、「困りごとの相談」（31.2%）、「にほんご交流会」（26.0%）などと続く。

問12. 問11で「その他」を選択された方にお聞きします。あなたはせたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）にどのような取り組みを進めてほしいですか。（記述回答）

（主な意見）

- 社会ルールを理解をさせるための講座や街中での見学会等を住民と行う。
- ゴミの分別の仕方や、ゴミ出しのルールなど、区民と同じように暮らしていただくための生活の工夫などを、区民と交流しながら知ってもらう。
- 英語だけでなく言語を学びたい
- SNSの交流
- ボランティア活動、避難訓練、AED研修、子ども食堂運営補助、シェアハウス、料理教室で多国籍料理、介護の資格を取ること
- 無理やり進めなくてよい

興味・関心がない（全2件）

特になし（全26件）

わからない（全4件）

問13. 多文化共生の推進について、ご意見がありましたらご記入ください。  
(記述回答)

(主な意見)

- 多文化共生を積極的に進めてほしい
- 外国人へのアンケートをとり、反映できたら良いと思う
- 外国人も日本人も尊重されるようになってほしい
- お互いの得意、特技、良いところをもとに交流できると良い
- 子供同士の交流を通じて、親の世代にも拡大していく努力。
- 生活習慣が違うので日本の習慣を教えてほしい
- イベントなどがあることを知らないなので、回覧板などまず周知できるものがあればいいと思います
- 日本が好きで来ており、日本に馴染もうと努力する外国人のためであれば良いが、不法移民や日本を利用しようとしている外国人に対しては毅然と対応してほしい。
- 郷に入れば郷に従え、という精神で、日本のやり方を学んでもらうことが必要。
- あいさつを積極的にしてくれて嬉しい
- 知らなかったなので、もっと認知度を高めて、回数も増やしてお互いの理解を深めあったり、外国に来て困っていることに対処していただけたら一区民として嬉しい。

特にない (全134件)

わからない (全8件)